

# 青山同窓会報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635  
新潟県立新潟高等学校内  
TEL 025-266-5268  
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

吉田 至夫

《印刷所》

株式会社 DI Palette  
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18  
TEL 025-285-7161  
FAX 025-282-1776

## 新年のご挨拶

青山同窓会会長

吉田 至夫 (79回)

71卒



新年明けましておめでとうございませう。

青山同窓会の皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のご定例会には大勢の皆様にご出席いただき、大いに語り合い、共に丈夫を熱唱し、素晴らしいひと時を過ごすことができました。コロナ明け初めてのお楽しみ抽選会も、大変盛り上がりしました。ご協賛いただいた多くの皆様には、この場をお

借りして厚く御礼申し上げます。

また、昨年は現役生もインターハイや全国大会への出場、県大会でもベスト8以上の健闘が相次ぎ、我が青陵健児の活躍にも目を細めた1年となりました。

さて、今年は戦後80年の節目の年となります。世界各地で紛争が続く中、昨年は日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことで、改めて平和への思いを強く致しました。

歴史的に見て近代日本の経済や国運は、40年ごとに上昇と下降を繰り返す、80年の大きな周期があります。1865年の幕末における混乱から1905年の日露戦争勝利までの上昇期の後、1945年の第二次大戦の敗戦で焼け野原となるまでの80年。焦土からの復興と高度成長を遂げ、1985年のバブル

景気をピークとした上昇期の後、長いデフレスパイラルに苦しんだ現在に至る80年。そして今年は、日本が大いなる上昇へと転ずる、新たな80年サイクルのスタートの年となります。

かつての大変革は、戦争や疫病などによって全てを一旦リセットし、社会や経済の再生をがむしやに断行せざるを得ない状況で起こりました。コロナ禍やウクライナ危機を経験した今、私たちは健全な危機感を再認識しました。そこにAIなど革新的な技術が加わり、かつてない生産性の向上で経済の好循環と持続的な成長が続く新たな隆盛期を迎えることになるでしょう。

各界におられる青山同窓会の皆様のご活躍により、我が国、そしてふるさと新潟県が、成長と発展の勢いを更に加速していきます。本年が皆様にとって素晴らしい1年となることをお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 青山同窓会新年会のお知らせ

会長 吉田至夫

明けましておめでとうございませう。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと思っております。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたくお願い申し上げます。参加を希望される方はお問い合わせして事務局までお申し込みください。

記

**日時** 令和7年2月18日(火) 受付開始 午後6時  
**開宴** 午後6時30分

**会場** ホテルイタリア軒 (TEL 025-224-5111)

**会費** 当日、会場受付で納入ください

平成31(令和1)年3月卒業以前(127回から先輩・通信制)、旧職員 **8,000円**

令和2年から令和6年3月卒業まで(128回から132回まで) **3,000円**

**お申し込み方法** 卒回、お名前、日中ご連絡可能な電話番号をメールまたはハガキでご連絡ください。

**締め切り** 令和7年2月7日(金)

お申し込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は2月10日(月)まで承ります。(2月10日(月)午後3時30分までに欠席の変更連絡がいただけなかった方は、後日キャンセル料金として対象会費相当額を申し受けます。)

**お申し込み・問い合わせ**

青山同窓会事務局 〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635 県立新潟高等学校内  
TEL 025-266-5268 メールアドレス niigata\_aoyama@yahoo.co.jp  
在室時間 月～金曜日(祝日・入学試験期間等を除く)  
午前10時30分から午後3時30分まで  
(業務内容によっては留守になることもあります。)

## 新年のご挨拶

## 「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けて

新潟県知事

花角

英世 (85回)

77卒



青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年の元日は、能登半島地震が発生し、県内でも大きな被害がありました。改めて、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。県では、国や市町村と連携し、災害からの迅速な復旧・復興に最大限取り組みてきたところであります。近年、自然災害が激甚化・頻発化していることから、

防災・減災対策を一層進め、県民の皆様との安全と安心の確保を第一に取り組んでまいります。さて、急速に進む少子化等を背景とした人口減少は、地方にとって深刻な課題です。県では、子育てしやすい住宅の普及促進や、「新潟県こむすび定期」等の経済的支援をはじめ、結婚を希望する方への支援や、子どもを生み育てやすい環境の整備に取り組んでいます。こうした結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を強化・推進し、子育てに優しい社会の実現を目指してまいります。

「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録が実現しました。世界の宝として認められた素晴らしい遺産の保存と活用につかりと取り組むとともに、国内外の多くの方々から本県を訪れていただき、世界遺産の価値や本県の魅力を知っていただけるよう取り組みを進めます。また、新たな首都圏情報発信拠点として「銀座・新潟情報館 THE NINGATA」を開設し、県産品の認知度向上をはじめ、観光交流やU・I・ターン促進など本県への人の動きをつくる取組を進めてまいります。

本年4月には大阪・関西万博が開催されます。県の石であるヒスイの展示のほか、本県の豊かな食や錦鯉、花火、大地の芸術祭など、新潟が誇る様々な魅力を国内外に発信し、本県の認知度を高めてまいります。こうした取組が活力のある新

潟県につながることを願うとともに、新潟ゆかりの方々や組織・団体が、大きく飛躍する1年になることを願っています。青山同窓会の皆様には、引き続き県政への御理解と御協力をお願いいたします。

## 思い込みを捨てて、地方分散に向かおう

参議院議員 (全国比例区)

佐藤

信秋 (74回)

66卒



明けましておめでとうございます。2025年、21世紀も4半世紀を迎えました。私は社会に出て以来50年以上、国土の地方分散を目ざしてきましたが、具体的に進んでいない、という

が実感です。知事のおっしゃっている「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を少しでも実現に近づけたいものです。少子化も地方分散から解決の糸口を見つけれないかな？と。そこで、これからは皆で今迄の思い込みにとらわれずに行動してもらったかどうか？と思っています。昨年、佐渡の金山が世界文化遺産になりました。明治時代、新潟が人口で都道府県の中で1番だったことがあるのはよく知られてい

ます。実は、国税を納めているのも明治の中頃は新潟が1番だったのです。東京の何倍も納めていました。これは佐渡の金山と越後平野や日本海の農水産物の豊かさのおかげだったのかな、と思っています。だから、私は東京都知事にも「新潟が人間や税金をいっばい東京につき込んできたのだからそろそろ返せ」といつも言っています。また都計法を新しくしてから50年以上、現在の都市計画の多くは昭和40年代に人口が増え続けていた頃に決められました。良好な都市づくりの為に規制と誘導が必要でした。

しかし、人口減少が続いたら、この調子では恐らくあと50年経っても、計画したようなまちの姿にならないと思われます。ではどうするか？都計のモラトリウムをして、50年間は地方が元気づけをなら何をして良くないに割り切つて、それぞれの地域にまかせせることにしたらどうか？とくに、首都直下地震や南海トラフ等の大災害の恐れを考えると、地方の拠点都市の人口収容余力を飛躍的に増やしておく、ということが大急ぎの課題でしょう。今こそ、思い込みを捨てて、地方分散に向かいましょう。

日頃より、皆様には格別なるご高配を賜っておりますこと改めて御礼申し上げます。昨秋には総選挙が行われ、その後第二次石破内閣が成立しました。私は新しい内閣において防衛大臣政務官兼内閣府大臣政務官を拝命しました。激変する安全保障環境、終わりの見えないロシア・ウクライナ紛争やイスラエル・ハマス紛争、そして

燃料資源価格の高騰や円安による輸入コストの増加による物価上昇などは多くの中小事業者や家庭を苦しめています。さらには震災からの復興、急速に進む人口減少とそれに伴う農林水産業や地場産業や地域公共交通、医療体制などの持続可能性、激甚化する災害への防災・減災対策、拉致問題など抱える課題は多種多様で対策は急務です。

## 新潟の声を、日本の未来に

参議院議員

小林

一大 (100回)

92卒



新春をすぎ謹んでお慶びを申し上げます。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

周辺国と対峙する我が国がおかれた環境変化は厳しさを増しています。そうした中、外交力と防衛力の両輪をバランスよく強化し、我が国の平和や地域の安定を実現できるよう国家安全保障戦略等に基づき防衛力の抜本的強化に取り組みとともに、自衛官の皆様との生活・勤務環境や処遇の改善など与えられた任務をしっかりとまっとうしていく所存です。



## 同窓会 総会 報告

## 令和 6 年

## 青山同窓会総会・懇親会報告

会報編集委員 加賀 稔理 (95 回) 87 卒

国の宝である子供たちが目を輝かせ夢や希望を語る社会の実現を目指し、大先輩である花角知事をはじめ首長、各級議員の皆様、そして何より各地で活躍される同窓会の皆様をはじめ全ての皆様と連携し、新潟県として我が国の更なる発展に寄与すべく粉砕努力を重ねて参ります。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和 6 年の青山同窓会総会・懇親会が 7 月 12 日 (金) に ANA クラウンプラザホテル新潟で開催されました。

総会では、まず吉田至夫会長 (79 回) がご登壇され、同窓会のホームページを刷新し、同窓生の会社からの広告も募った上で、同窓生の交流をさらに活発にしていきたいとご挨拶をされました。

市野正廣校長からは、創立 130 周年事業への協力に對してお礼の言葉を頂き、今年度から応援練習を優しい指導方法に変えた事、昨今の物価上昇の影響で青陵祭の機材設置費用も値上がりしている事など時代が変化する中でも「他者への思いやりを兼ね備え、社会に貢献できるリーダーの育成を目指している」とのご挨拶を頂きました。



林正明さん (86 回) からは、11 月 30 日に対面とウェブで総会の開催を予定しており、仙台空港へのトキエアの就航を機にますます交流を盛んにしていきたいとのご報告を頂きました。

その後、総会は議事へと進み、令和 5 年度会務報告及び決算、令和 6 年度会務計画及び予算が承認されました。

続いて長谷川絵里さん (116 回) の司会により懇親会に移り、ご来賓の参議院議員小林一大さん (100 回) は、同窓生の一員として、青山同窓会と母校を支えて行きたいとご挨拶されました。

新旧校歌斉唱で現役当時の気分に戻った後は、副会長渡邊毅さん (85 回) による乾杯で会場は和やかな雰囲気になりました。

ご来賓の東京青山同窓会会長佐藤信秋さん (74 回) からは 6 月 29 日に総会・新入生歓迎会を開催し 70 名以上の参加を得た旨を、関西青山同窓会会長恩田雅和さん (76 回) からは 3 月 16 日に開催された総会の様子を、東北青山同窓会副会長小

コロナ明け初めてのお楽しみ大抽選会が行われ、数多くの同窓生から寄せられた寄贈品が各卒期に贈られました。

その後、総会実行委員長加藤貴之さん (100 回) による最多出席 79 回の表彰と続き、丈夫斉唱、中締めは副会長町田一越さん (95 回) による万歳三唱で会は幕を閉じられました。

## 令和 6 年

## 青山同窓会総会・懇親会 寄贈品

## — 乾杯酒 —

109 回 樋木 由一 様 (樋木酒造(株))  
日本酒

## — 最多出席期表彰 —

94 回 本多 孝 様 (フェルミエ)  
ワイン

109 回 樋木 由一 様 (樋木酒造(株))  
日本酒

## — お楽しみ大抽選会 —

60 回 金塚 尚 様

60 回 小林 亨 様

ワイン 赤白各 1 本

79 回 吉田 至夫 様 (株)新潟クボタ)  
コシヒカリ (300g×3 個) 5 セット

86 回 栗山 敏昭 様 (株)栗山米菓)  
米菓詰め合わせ 5 セット

86 回 栗山 敏昭 様 (ホテル日航新潟)  
ホテル日航新潟 ランチ券ペア 3 セット

94 回 本多 孝 様 (フェルミエ)  
ワイン 1 セット

95 回 町田 一越 様 (日産プリンス新潟販売(株))  
日産グッズ 4 セット

105 回 田中 健一 様 (株)クオリス)  
食事券 6 セット

109 回 樋木 由一 様 (樋木酒造(株))  
日本酒 2 本  
ANA クラウンプラザホテル新潟 様  
ギフト 2 セット  
ホテルイタリア軒 様  
商品券 1 枚

## ★ 青山同窓会の書籍等のご案内 ★

新潟高校 120 周年までの歴史を編纂した書籍や校歌・応援歌を収録した CD 等をご希望の同窓会員にお分けしております。事務局までお問い合わせください。

『青山百二十年史』書籍 (CD-ROM 付き) 10,000 円  
『青山同窓会百二十年名簿』 5,000 円  
校歌・応援歌 CD 1,000 円

※すべて送料込み、料金振込手数料別途

令和 7 年度 中  
青山同窓会総会のお知らせ  
— 予定 —

日時：令和 7 年 7 月 18 日 (金)  
午後 6 時～ 総会  
午後 6 時 30 分～ 懇親会  
会場：ANA クラウンプラザホテル新潟

令和5年度青山同窓会収支決算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日) (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
入会金収入	721,800	715,000	6,800	1年生 1人 800円×362人 2・3年生 1人 600円×709人
会費収入	6,000,000	6,462,155	△462,155	同窓会年会費1口1,000円
総会収入	3,500,000	2,038,000	1,462,000	7,000円×290人、3,000円×2人、寄付
新年会収入	770,000	651,000	119,000	7,000円×93人
雑収入	1,000	54,525	△53,525	名簿、青山百二十年史、校歌・応援歌CD代金、預金利子
収入合計	10,992,800	9,920,680	1,072,120	
総会費	3,500,000	2,022,135	1,477,865	
新年会費	770,000	651,000	119,000	
人件費	1,350,000	1,315,378	34,622	職員1人給料、社会保険料
通信費	1,600,000	1,801,838	△201,838	総会案内及び会報発送料金、振込料金、電話料金、料金後納利用代
印刷費	500,000	688,006	△188,006	総会案内状、封筒、振替用紙、はがき印刷代、宛名出力代、名簿データメンテナンス代
慶弔費	100,000	89,965	10,035	離任職員饗別、弔電、献花
広報費	1,200,000	1,249,292	△49,292	年2回発行会報印刷代、学校案内掲載広告代、ホームページ契約料
会議費	600,000	477,290	122,710	
旅費	450,000	412,690	37,310	
卒業生記念品費	300,000	275,880	24,120	
補助費	910,000	850,000	60,000	東京青山100,000円、東北青山100,000円、関西青100,000円、通信制50,000円、クラブOB会補助、青陵祭補助、学校行事補助
母校支援費	130,000	138,157	△8,157	がんばれ青山寄付100,000円、卒業生連絡ハガキ
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	250,000	255,906	△5,906	光熱水費、消耗品費
予備費	2,704,500	0	2,704,500	
支出合計	14,464,500	10,327,537	4,136,963	
収支差額	△3,471,700	△406,857	△3,064,843	
前期繰越金	3,471,700	3,471,700	0	
次期繰越金	0	3,064,843	△3,064,843	

令和6年4月4日 上記の通り相違ないことを確認致します。 監事 遠見 和哉  
監事 吉田 泰治

令和6年度青山同窓会会務計画

令和6年7月12日(金) 総会  
令和7年2月18日(火) 新年会

令和6年度青山同窓会収支予算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日) (単位: 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
入会金収入	713,400	721,800	△8,400	1年生 1人 800円×360人 2・3年生 1人 600円×709人
会費収入	6,000,000	6,000,000	0	同窓会年会費 1口1,000円
総会収入	4,000,000	3,500,000	500,000	1人8,000円×500人
新年会収入	770,000	770,000	0	1人7,000円×110人
雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入合計	11,484,400	10,992,800	491,600	
総会費	4,000,000	3,500,000	500,000	
新年会費	770,000	770,000	0	
人件費	1,350,000	1,350,000	0	職員1人給料、社会保険料
通信費	1,800,000	1,600,000	200,000	会報発送、総会、役員会案内郵便料金 振替料、電話料金
印刷費	700,000	500,000	200,000	封筒、振替用紙、案内状印刷代、 データメンテナンス代
慶弔費	100,000	100,000	0	慶弔電報、香華料、離任職員饗別
広報費	2,200,000	1,200,000	1,000,000	年2回発行会報印刷代、学校案内掲載 広告代、ホームページ改修・契約料
会議費	600,000	600,000	0	
旅費	450,000	450,000	0	東京、関西、東北同窓会総会、県内 高校同窓会長有志懇談会出席旅費
卒業生記念品費	300,000	300,000	0	
補助費	870,000	910,000	△40,000	東京同窓会補助100,000、関西同窓会 補助100,000、東北同窓会補助100,000、 通信制部会補助50,000、クラブOB会 補助、青陵祭補助、学校行事補助
母校支援費	130,000	130,000	0	がんばれ青山寄付、卒業生連絡はがき代
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	250,000	250,000	0	光熱水費、消耗品費
予備費	929,243	2,704,500	△1,775,257	
支出合計	14,549,243	14,464,500	84,743	
収支差額	△3,064,843	△3,471,700	406,857	
前期繰越金	3,064,843	3,471,700	△406,857	前年度繰越金
次期繰越金	0	0	0	

がんばれ青山

～応援募金についてご案内～

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

全国大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しております。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 00510-4-52617 がんばれ青山

第四北越銀行

本店 普通口座 5054323 がんばれ青山

ご寄付を頂戴しましたことをご報告し、篤くお礼申し上げます。

がんばれ青山応援募金御芳名簿

(2023年12月～2024年11月)

個人 全日制 86回 佐々木 元  
87回 若山 寛  
90回 小杉 仁  
108回 小野 由美

団体 青山同窓会

(敬称略)

○お取引明細表が領収証となります。

○お名前前に併せて卒回もご記入ください。

・第四北越銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。

・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。

・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。

(カイト、ネンカイト等の文字は必要ありません。)

例) 全日制の方の場合 〇〇アオヤマタロウ

通信制の方の場合 ツ〇〇アオヤマケンジ



## 各地 青山同窓会

## 令和6年度東京青山同窓会(総会兼新人歓迎会)報告 2024.7.7

工藤 義夫 (74回) 66卒

昨年はコロナ明け4年振りに総会を再開した。漸く常態に戻り今年も恙なく開催できた。梅雨合間やや蒸し暑い6月29日(土)昼。

会運営は去年の90期からバトンを継ぎ、今年は94期生有志9人が周到に企画準備し当日の運営も見事だった。必ずしもワンパターンでなく独自の企画が楽しかった。

佐藤信秋東京青山同窓会長、吉田至夫青山同窓会長の各ご挨拶、市野正廣学校長からは母校音信を、旧3学年担任3教諭のご紹介など。

引き続き今日のメインイベント『朗読』の30分間。語りは94期で元フジテレビアナウンサーの松井みどりさん。父と娘の心の葛藤…静かに心に沁み入る物語だった。

お待ちかねのランチ。参加最長老62期の渡辺千里さんの乾杯ご発声から。今日の食事は都合により例年よりアップグレードしたbuffetで楽しみながらの

歓談。

第二部は新人歓迎会へ。128期の9人を歓迎する。壇上に新人たちが集い、各期代表3人の返礼(128期・本間千裕さん、130期・乙川文隆君、132期・村尾泰治君)。

次いで、校歌斉唱・ますらお

合唱。90期の森豊君が音頭を取り、130期の乙川文隆君がエール役を買って出て唱和する。会場みな起立して声を合わせ、会場の独特な高く高い天井までこだまする。次いで集合写真と新人写真の撮影を矢継ぎ早に終え、総会行事の2時間をまず終える。

以降の1時間は自由歓談などに。その間、書籍の紹介2名(昭和と、東大名誉教授70期の猪口孝さん)から。さらには、コピーライター117期の畑山雅俊さんが銀座に8月開店の新潟ショップ



THE NIGATAの宣伝紹介。3時退場まではアチコチで自由交流を。トータル3時間半が閉幕。さらに20人が新橋居酒屋の二次会に集う、述べ7時間にも。来年は6月28日(土)昼・同会場で。100・105期生有志担当にて。真砂なす無数の青山同窓生その中に君に向かい、て光る星あり。(元)の句・正岡子規(を一部替え)。

## 令和6年度 関西青山同窓会を開催しました

渡邊 友昭 (83回) 75卒

令和6年11月16日(土)15時から、第18回関西青山同窓会総会・懇親会が新大阪ユースホステルで開催されました。参加は25名と前回より寂しくなりました。

開会に先立ち、司会の渡邊友昭(83回)から渡辺操前会長(66回)が5月に逝去されたことの報告があり、出席者全員で黙祷を捧げました。

総会は恩田雅和会長(76回)のご挨拶から始まり、次に事務局島田茂さん(83回)より前年度の会計報告説明があり、承認されて終了しました。

引き続き講演会に移りました。今回の講演は松沢慶将さん(95回)による「水族館のよもやま話」でした。松沢さんは長年に渡りウミガメの研究をして来られて、国際ウミガメ学会会長も歴任され、5年前から四国水族館館長を務めておられます。皆さん普段なじみがないウミガメの生態についてのお話を興味深く聞いておられました。

記念撮影後、別会場に移動して懇親会開始。冒頭、近藤宏一



前副会長(66回)の乾杯ご発声で始まり、続いて、ご来阪頂いた青山同窓会吉田至夫会長(79回)のご挨拶で、選抜高校野球21世紀枠の県候補に推薦されたことも交えてお話がありました。さらに桑野一美幹事長(97回)により市野正廣校長からのメッセージが披露されました。その後は幅広い年代の出席者で歓談の時間でした。途中、大阪大学と奈良女子大学の共に129

## 卒業アルバム寄贈のお礼並びにお願い

会長 吉田 至夫

下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。

49回、52回、53回、54回、57回、95回

ご寄贈いただける方は、青山同窓会事務局まで連絡をお願いします。

TEL/FAX 025-266-5268

メール niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

回の現役学生、西村陸さんと内田小雪さんから進路についての話での盛り上がりや、総会の司会を務めた渡邊友昭による「応援歌丈夫の由来と新旧校歌制定について」の飛び込みスピーチもありました。最後は恒例の「丈夫」。今回も懇親会を司会した伊藤洋介さん(83回)が声出し、野球部後輩の松原忠司さん(95回)のリードで、全員での大合唱。佐藤悌二郎副会長(83回)のご挨拶で開きとなりました。次回は令和7年の同時期開催を予定しており、青山同窓会HPにも告知する予定です。関西に縁のある同窓の皆さまの多数ご参加をお待ちしております。



## 同窓生訪問

## 楽器屋 JUNJUN

渡辺 剛さん(92回)

長谷部美也子(93回)

85卒

「ジャンベ」という楽器をご存じでしょうか？西アフリカ起源の手で叩く太鼓 打楽器です。ジャンベをはじめとしたアフリカの楽器や小物などを販売しているお店 JUNJUN の店長 渡辺剛さんを訪ねました。

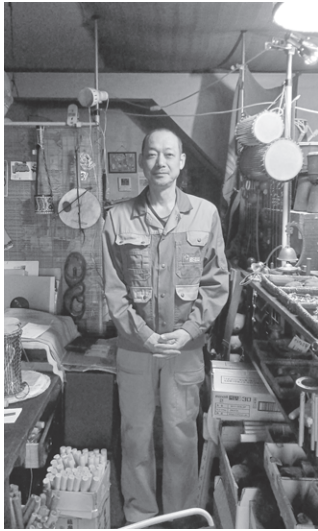
**在学中の思い出**

当時の新潟高校には吹奏楽部がなく、ジャズを中心とした軽音楽部があり渡辺さんは部長を務めていました。先生による指導は少なく、生徒自身が自主的に試行錯誤を繰り返しながらの活動だったそうです。少ない部員ながらも、部室にあるいろいろな楽器と出会えた豊かな時間を過ごし、「たった3年間の高校生活だけど、濃密な体験だった」と振り返ります。当時の渡辺さんの姿は、後輩の私の記憶の中にもあり、文化祭のライブで演奏する姿が思い出されます。ジャンベとの出会い

社会人となってから行った音楽イベントやお祭りで太鼓と出会います。そこで手作りのジャンベを叩く方と出会い、叩かせてもらって「すごい音がしますね！」というのが始まりだったそうです。意外にも日本人が作った太鼓が入口で、ジャンベの表現の豊かさにはまっています。

## 新潟への思い

1997年に「JUNJUN」を開店します。当時はインターネットが一般家庭に普及し始めた時期でした。



渡辺さんはいち早くWEBショップを開設でも、なぜ新潟で？「当時は

新潟っていうと地味なイメージ。でも新潟からやりたいな、新潟から全国制覇してやれっていう気持ちがありました。時代の空気感っていうのも、バブルが崩壊した後とはいえまだ結構勢いが残っていました。最初から全国のもの好きな人たちが相手にしたかったんです。」

そんな渡辺さんの先読みは時代の流れにずばり合致しました。今や指一本で検索すればヒットする時代、全国から問合せや修理依頼が絶えないそうです。

**在校生へのメッセージ**

「海外に行くにあつとと思うのが、匂いとか空気感とか、あと人のノリとか。そういうものつてやっぱり行ってみたいとわかんないから、できれば若いうちに体験してほしい。日本にいては想像しにくい環境や習慣、考え方で生きている人たちがたくさんいることを知ってほしい。」

**インタビューを終えて**

店内にはジャンベや打楽器以外にもたくさんの楽器があり、演奏もしていただきました。また日本の太鼓とアフリカの太鼓の文化の違いなど興味深いお話も聞き、時間のたつのがあつという間でした。渡辺さんはジャンベのワークショップや体験会を随時開催されています。HPやFacebookをご覧になりジャンベに触れてみてください。

https://djembe-junjun.com/

https://www.facebook.com/JUNJUN.JAPAN

## 同期会

## 第七十一回(昭和三十八年卒)「さんばち会」最終会

中村 英一(71回)

63卒

昭和38年卒業第71回同期会「さんばち会」は令和6年5月27日に新潟市の新潟グランドホテルで最終会を開催し解散いたしました。一年前から幹事会で検討し、会員が傘寿を迎える年を機に活動終了を決定しました。会の発足年は明確でないですが、篠田正志君の篠田旅館を



拠点に徐々に拡大、卒業35周年会から五年毎に開催し、参加者が100人を超える盛会もありました。50周年以降は各人の時間的余裕が生まれたこともあり二年毎に行い、近況交換を楽しんできましたがコロナ禍に襲われてからは休会し、今回に至りました。卒業から還暦年数を上回る61年が経過して、80歳という節目を無事に迎えられることに感慨を覚えた最終会でした。

当日の参加は県内外から50人、内女性5人。開会に当たり物故者72人(事務局把握)に黙祷を捧げた後、中野 久君の司会で開始しました。三年時のクラス別で配置された各テーブルでは直ぐに会話の花が咲き、旧交を温め合う光景が会場に溢れました。

入学した昭和35年は六十年安保で騒然とした年でしたが、以降日本は高度成長期に入り、昭和

和39年の東京五輪を目前にして世の中は活気に満ちていました。「所得倍増」、「ウエストサイド物語」、「ベン・ケーシー」、「上を向いて歩こう」、「栃若から柏鵬時代へ」等、あの頃の世相を映す言葉です。

入学時の教室は火災後に建てられた鉄筋校舎、体育館と武道場は被災しなかった木造の古い校舎で新旧混在する環境での高校生活を懐かしく思い出します。当時、新潟高校には学識豊かな先生が数多く在籍されていました。名先生方の授業から戴いた「糧」は私たちの大きな財産です。会場で斉唱した校歌と「丈夫」に参加者全員が当時へ思いを馳せていたことでしょうか。療養中のため欠席を余儀なくされた代表の山内幹夫君、篠田君亡き後、事務局を担った若林忠君はじめ幹事のみなさん、青山同窓会との連携に努めてくれた司会の中野君、各位のご苦勞に感謝です。

解散後は有志の集いとしてこの会が繋がっていくよう願っています。

諸兄諸姉どうぞお元気で。末筆ながら青山同窓会事務局のご支援にお礼申し上げます。

## 「第20回青山68会展」を終えて

田中 宣男 (68回) 60卒

2004年2月の青山同窓会新年会の帰り、いつもの如く古町へ。68回の仲間、池主、若松、岩原、田中(宣)の面々は、些か酔いがまわり話が弾んでいました。

その時誰かが言った「俺らも今年で63歳。少しは世の中のためになる事をやったらどうか」と。

そうだ、そうだと話は一気に盛り上がり「それは文化だ芸術だ」と発展して作品展の開催が即く決定！翌日からそれぞれの得意分野で準備にかり、その年の9月に絵画・写真・陶芸・工芸、書、俳句、川柳等々何でも有りの「第1回青山68会展」が開催されました。

あれから20年！毎年開催して、昨年20周年を迎えたのを機に「フィナーレ20」と銘打ち2024年10月24日～27日の4日間「第20回青山68会展」をNSTギャラリーで行い、20年間の幕を閉じました。

1960年卒の68回有志だけの作品展は他にあまり例がなく、毎年、新聞、テレビ等で取り上げていただきました。20年も継続すると毎回来場される常連さんが増え、もつと続けて欲しいとお声もいただきました。



しかし、今年で全員83歳となり、頭も薄く白くなり、会場の設営、特に脚立に昇つての展示作業などが、いささか危なっかしうハラハラする場面もありましたので、そろそろ潮時かなと感じ卒業することにしました。

今後は、規模を小さくして街の画廊喫茶店等で「ミニ作品展」をささやかに続けていきたいと仲間と話しています。

最後に、これ迄長きに渡りご支援いただきました青山同窓会の皆様や作品展に出品、協力いただきました60回生の皆様に心から感謝を申し上げます。有難うございました。

「第81回卒業生の集い」盛大に開催  
きつとまたいつでも会える、  
でも今回は大きなチャンスです！

高野 俊也 (81回) 73卒

私たち第81回は昭和48年(1973年)に新潟高校を卒業。あれから半世紀を経て、古希を迎える節目の年にあたることから、2024年10月26日(土)新潟市内の新潟グランドホテルにて、なんと同期生104名が集まり盛大に「集い」を開催しました。振り返れば、この年4月に各組幹事を選出して、ほぼ毎月、準備の打ち合わせを行い、頻繁にLINE会議を通じて幹事間の連携よろしく、高校時代の青陵祭の準備をしている感覚で実に楽しい出来事でした。「集い」当日、受付ロビーでは、どどん集まる同期生の元氣な姿を見てうれしく、消息を確かめ合う姿がロビーのあちこちで見られました。「集い」では、最初に、10組の伊藤秀夫君の開催の挨拶、そして、乾杯では、60歳になってクラフトビール醸造を始めた8組の高野俊也君が造った「沼垂ビール」をみんなで注ぎあつて交歓しました。そのあと、10組の藤村修君による旧制新潟中学校歌の独

唱。バリトンの重厚感あふれる歌声に参加者うつとり聞き惚れました。さらに、各組別のステージに上がってひとりずつ近況報告、50年前を思い出させる、変わらない風貌に、タイムスリップした空間でした。そして、ア



トラクションでは、4組の丸山晋司君、5組の親松実君、10組の斎藤豊男のグループ「Fathers' Farm」によるなつかしいフォークソングの数々。なつかしさに参加者もいつしよに合唱する一幕も。さらに8組の本間(小林)桂子さんをリーダーとする女性3人による「ビップモンスター」による元氣あふれる踊りと歌のステージ。会場は熱気に包まれテーブルのあちこ

ちでグラスを傾けながら大声で談笑する姿が印象的でした。こんな雰囲気であつたという間に2時間半が過ぎ、1組の吉谷克雄君のリードによる恒例の「ますらお」を久しぶりに放歌することができました。そして、3組の坂田(稲月)光子さんによる締め挨拶で、無事、大団円。みんな元氣で再会したいとの想いを抱いて活力を大いに得た「集い」となりました。

## 青山82回卒業50周年記念同窓会報告

副実行委員長 青木 定夫 (82回) 74卒

82回卒 卒業50周年記念同窓会は2024年9月22日14時からANAクラウンプラザホテル新潟で盛大に開催されました。2020年に予定の同窓会がコロナ禍で中止になり前回から9年ぶりで、参加者数を心配しましたが、当日は110名+恩師2名が集まりました。やむを得ない理由で欠席の斉藤直子実行委員長にかわり青木の開催のあいさつの後、90歳を超えられて

いる柴野先生と生涯新潟高校体育教官の石崎先生にご祝辞をいただきましたお元氣な様子を拝見しました。

乾杯の発声は遠くアメリカから参加した渡辺康雄君にお願いしましたが、彼のあまりに若々しい容姿に女子の参加者の熱い視線が集まりました。

Riverside Jazz Bandの演奏が流れる中、あちこちに輪ができて、50年の時間はあつという間にさかのぼったようです。バイキング料理やアルコールは早いペースで消費されていききました。幸い体調を崩す人もなく、みんな年齢を感じさせない青春の勢いそのものでした。

午前中は雨が降ったりやんだりする空模様でしたが、午後には天候は回復し10人の実行委員の行いの良さによるものと感じ

ました。





次期実行委員長の石崎君のあいさつの後、八藤後君の指揮で丈夫斉唱、万歳三唱で1次会は幕を閉じました。数年後の再会を約束しました。

2次会は恒例のウォーターシャトルのサンセットクルーズ

ました。14時開始にもかかわらず早い人は13時前に受付に顔を出し、遅刻者もいなかったため、みんなが心待ちにしてくれていたことを感じました。50年の歳月は長く、前回参加者でも9年たっているため、受付では名前を聞いてやっとだれかわかるという場面も少なくありませんでした。

で、夕日は見れませんがゆつくり信濃川を周遊しました。船内では珍しいお酒も楽しむことができました。下船後三々五々夜

の街に消えていきました。同級生は永遠に仲間だと改めて感じた一日でした。

## 88期還暦同期会

澁谷 聡 (88回)

'80卒

去る10月26日(土)、行形亭において、88期の還暦同期会を行いました。コロナで延期となり、キンプリのコンサートで宿が取れず再延期となり、ようやく開催、参加者は63歳を迎える年となっていました。連絡網も無かったので、ホームページを作りメール伝いでアドレスを周知しました。その結果、遠く岡山や京都からの参加者もあり、総勢63人の会となりました。63歳が63人、偶然です。

楽しい会とするために、皆さんには以下の注意事項をお願いしました。

- ① 調子に乗って飲みすぎない
- ② 議論しない、喧嘩しない
- ③ 救急車で帰らない
- ④ 営業しない、布教しない

乾杯の発声を同期で新潟市副市長となった野島晶子さんをお願いしたところ、16歳の自分と今の自分と10年後の自分を思い浮かべましょう、というキョン



## 青山91期還暦同期会報告

阿部 見和子 (91回)

'83卒

(文鎮やマグカップなど)が当たる抽選会と、榎木酒造さんの日本酒「鶴の友」14本争奪戦を行いました。行形亭さんと柳都振興さんと鶴の友、青山同窓会のそよい踏みという感じでした。宴会の2時間半はまたたく間に過ぎました。佐藤文俊君の指揮で「ますらお」1〜3番を歌い、中締めとなりました。

続いて、別室で二次会を開催

しました。当初30人程度の参加希望がありましたが、ふたを開けたら50人の参加で、こちらもまた盛況な会となりました。二次会のメは川合久美子さんをはじめとする女性陣の掛け声での一本メで、厳かに終了しました。喧騒も無く、救急車を呼ぶこともなく、平和で楽しい同期会でした。

「11月16日、万代シルバートルで還暦同期会開催」5月中旬に突如持ち上がった開催話。

「準備期間は通常一年間。」と先輩から聞き、青くなりながらも幹事の方の大車輪の活躍で無事開催にこぎ着けました。

急な案内にも関わらず、高校卒業以来の同期会とあってか、126名が全国から集結。受付ではクラスを思い出せずに右往左往する人も、若い頃の面影を見つけた途端一気に昔に戻って話の輪が。10クラスを二回に分けて記念撮影をし、いよいよ開

会。発起人の開会の挨拶、逝去された先生および友人を偲んでの黙祷の後、42年前と変わらな

お元気な松本達夫・小泉正両先生からお言葉を頂き、「これからも減っていく日を数えるのではなく、一日一日を積み上げていくのだ」というお言葉や、「まだたった60歳ですから」のお言葉に激励されました。

乾杯後は、卓毎に近況報告やら昔話やら。食事優先タイム後はクラス・部・中学校単位での記念撮影も。途中、司会者から、ご欠席の恩師の方からのメッセージが読み上げられ、また、クラス代表による近況&PRタイ



ムでは新潟高校らしく多様なPRが披露されました。宴酣の中で、改めて先生方に花束が贈呈され、いよいよ応援歌。応援練習しながらに「丈夫」「えび茶の旗色に」「エール」と続き、「声が小さい！」のかけ声まで。皆で思い切り声を張り上げて、感無量の瞬間でした。そして「また集まりましょう。」の閉会の挨拶に大きな拍手が送られ、正調三本締めでお開き。

二次会では、医師であり、シンガー&ソングライターとしても活動している佐藤弥生さんのミニライブも開かれて盛り上がり、三次会で久々に午前様という強者まで。

本当に夢のように楽しいひと



ときだったとグループLINEも盛り上がり、登録数は百を超えました。今回出席できなかった方からも登録があり、91期生

## 13回卒の集まり

吉澤 利子 (通13回)

71卒

通信制13回卒は最初からまとまりが良く、団結力が素晴らしいメンバーが集まっていた。新潟、新発田、見附、魚沼、十日町と遠方の人間が多くなりますが、十日町、魚沼、小千谷の奥の住人が人を集める力が有り余っていて、スノーダンプの如く強い押しで人数を集めるのです。ハガキに電話にと駆使し、新潟、瀬波、弥彦、大湯、長岡、月岡、湯田上と県内各地で集合しては、同期会を開催してきました。恩師の先生方も、上杉雅之先生、尾関通郎先生、小泉正先生、渡辺銀次郎先生、阿部誠也先生等々ご参加いただけてきました。先生が「幹事だけでなく先生も来いや！」と皆で呼びつけるので仕方なくのご参加だったかもしれません。渡辺銀次郎先生はご出身が十日町、通信制の後には川西高校に赴任され、小泉正先生は六日町の八海山高校への赴任でした。私は十日町在住

は、新たなステージを迎えたようです。次回の開催も期待してご報告まで。

で同郷が嬉しく、十日町で飲み会を開き魚沼や小千谷からも人を集め、楽しい一夜を過ごしたことも良い思い出です。

令和6年は4月23日に湯田上温泉にて、15名で一泊を楽しく過ごしました。不参加の方にも開催報告の冊子や写真等を送ると、次の機会には参加しようと考えての方も多く、13回卒の会は50年以上も続いてきたのだと思います。



## OB会

お誘いを送ると、高齢で身体が不自由になり施設に入所しました、等とご家族が代筆やお電話を返してくださることもあります。学生当時は30代の子育て中、親が夜頑張つて学習している姿を見てきた、と報告を添えてくれるお子さんも多く、仲間と支え合いながら通信で学べたことを、改めて大切な人生の宝だ、と皆で語り合っています。

もう鬼籍に入っている方もおられますが、思い出の中では皆元気です。一番若い方が73歳になりました、あと何年集まれるか予想もできませんが、また誰かが声を上げれば、皆で呼びかけあいが始まることでしょう。また仲間と集まり語り合う、大切な一時を過ごせることを楽しみにしています。

## 青山競技部 総会開催

会長 河合 慎次郎 (86回)

78卒

青山競技部総会は大型台風が東北地方に上陸し、開催が危ぶまれましたが、新潟はなんとか風雨の被害も無く、8月12日に無事開催することができました。午後3時、総会はイタリア軒最上階の新潟市が一望できる「グンドリーナの間」で始まり、新潟高校陸上競技部顧問の松本由美子先生からインターハイに至るまでの同部の活動報告をしていただきました。現在部員数は60名を超えており、男子400m、400mハードル、棒高跳び、4×400mリレー、女子は棒高跳びで北信越大会まで出場し、特に男子400mの

圓山倫生君は新潟県大会で新潟高校新記録となる47秒82という素晴らしい成績を収め、インターハイへの出場を果たしたことが報告されました。

懇親会は参議院議員として活躍されている小林一大さん(100回)の乾杯の音頭で華やかに開宴となりました。そして6月にビッグスワンで開催された陸上日本選手権の2024年新潟大会開催にご尽力された新潟県陸上競技協会会長の大橋誠五さん(76回)から大会に関する様々な苦労話を頂き、会場は大いに盛り上がりしました。同大会に出場した本会OGで、医師との二



刀流で注目された広田有紀さん(122回)の活躍もご報告いただきました。

この総会で監査役を引き受けていただくことになった灰野孝宏さん(85回)のリードで、恒例の「丈夫」の大合唱が聞こえ、中締めは「陸上競技記録」のデータ分析の達人」である米原洋一副会長(79回)から、新潟高校陸上競技部のシーズン上期での活躍を詳しいデータを交えて解説していただきました。いかに強豪校のひしめく中を、県大会、北信越大会と勝ち抜いてきたかを知り、会場内は称賛の拍手で割れんばかりとなりました。

## 県大会優勝選手と泳いだ交流会

水友会事務局 中戸 雅博 (83回)

75卒

令和6年8月3日、4日に、新潟高校水泳部合宿が関川村の寿荘で開催された。4日の午前中に、関川小学校プールで恒例の水友会OBとの交流会を行い、水友会会長の平田大六(60回)、中野謙(80回)、山際和明(83回)、松木保(84回)、長谷川富明(84回)、津野徹(85回)、中戸雅博(83回)が現役選手に挑戦した。

OBは一人25m、現役には50mのハンドを課してのリレーである。平田会長は7月末に行われた小学生と歩く「米沢街道100km」での疲れから、今回



は応援団長を務めた。現役と3回ほどリレーを行った。3回目は今年の県大会の優勝メンバーである須田大輔さん、坂本莊介さん、三島遼人さんも参加したメドレーリレー。70歳前後のOBの泳ぎとはまるで違う現役の素晴らしい力泳にほれ惚れた。そして、10日後に佐賀で行われるインターハイでの活躍を祈った。

午後は寿荘の裏庭でBBQを行った。その裏庭にある大きなクルミの木の下に、その朝熊が蜜を取り出すためにつけたばかりの爪痕が残されていた。平田会長が部員に丁寧に説明された。高井司(104回)からのもちもちシューの差し入れもBBQを盛り上げた。BBQの最後には、部員から、将来の抱負を一人一人に披露してもらった。

1988年から2001年まで、13年間新潟高校に勤務され、野球部の監督を務められた伊藤修先生を囲む会が、昨年8月12日に盛況のうちに開催されました。参加者は当時お世話になった97回から111回卒の部員・マネージャー計66名。残念ながら都合がつかなかった同窓生からも、記念品代や温かいメッセージが多く寄せられ、伊藤監督の人望の厚さを改めて感じました。昨年64歳になられた伊藤監督。当初は還暦のお祝いに合わせ実施を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で延期。ようやく実現した今回の集まりは、参加者全員にとって忘れられない時間となりました。幹事長の101回・中野修君は現在高校体育教師。伊藤監督に感銘を受けて



体育教師になった...という美談はありませんが、自身が教壇に立つなかで、当時の監督の指導の深さを日々実感しているそうです。

伊藤監督は新潟高校在任中に

春準備、夏・秋はベスト4など数々の輝かしい成績を残されました。その後も上越地区の高校で指導を続けられ、2023年には日本高野連から育成成功労賞を受賞。現役の指導者として、今もなお高校野球界に貢献されています。まだ現役だから？当時と全く変わらぬ若々しい風貌に参加者一同驚嘆！そんな監督を目の前にし、久しぶりに多くの先輩後輩に会ったもんだから、思い出が蘇ること蘇ること...。当初のステージイベントは各学年代代表からの謝辞のみ予定でしたが、結局参加者全員が監督との思い出を語り出す展開になりました。現代ではちょっと不適切？とも思えるエピソードの数々に、部員は終始大笑、監督は苦笑いとお託しの連続でした。

最後のご挨拶で伊藤監督は「新潟高校は本当に素晴らしい学校。自分も先生方に育てもらった。結婚や子どもを授かったのもこの期間で、今の自分があるのは、この13年のおかげ。」そして「人生において一番の財産は人との繋がり。私もこのご縁を大切にしたいし、みなさんも仲間、同窓との繋がりを大事にして欲しい」と話されました。高3最後の夏の大会を思い出しました。

18時30分から始まった総会では、栗林仁会長(83回)の挨拶、東京青山柔道倶楽部会長の佐藤信秋氏(74回)の挨拶と続き、会計報告、吉田監督から現役部員の活動報告があった。その後の懇親会は佐藤成昭氏(74回)の乾杯で始まり、終始穏やかな雰囲気の中で各会員が旧交を温めた。会も終盤、栗林会長の音頭で丈夫を斉唱。立川克雄名誉



会長(72回)の中締めで盛会のうちに終了した。

上記のほか出席者は次のとおり。小川もと(74回)、相澤裕吉(78回)、成海孝二(81回)、吉谷克雄(81回)、倉田久郎衛(82回)、成田昌稔(82回)、広井俊隆(82回)、山下義昭(82回)、大澤満(84回)、廣瀬一秀(84回)、須田剛(87回)、山際昇(89回)、斎藤俊弘(90回)、古藤浩(90回)、野沢雅行(91回)、上杉恒彦(92回)、井狩歩(92回)、丸山寛(93回)、福田仁史(95回)、渡邊久雄(96回)、名塚武史(97回)、本間貴(99回)、加藤

## 青山野球倶楽部 伊藤修監督を囲む会

品田 泰 (101回) '93卒

進路をしつかり見据えた熱いものばかりであった。

3日夜には水友会の総会と懇親会も行われた。顧問の佐藤先生は県大会の優勝カップを披露された。近年、インターハイまで進む活躍が続くため、活動費が不足しているとも話されていた。水友会からも支援したいの

で、会員の皆様へ会費の納入をお願いしたい。(9月現在29名から計111,000円の納入)

事務局からの連絡(総会での決定事項)

①会報の住所・電話番号の掲載の取りやめ

②現役員の次年度の留任

## 青山柔道倶楽部 令和6年度総会開催

副会長 儀同 政宏 (90回) '82卒



知愛(101回)、山崎和剛(123回)、  
(127回)。次回もさらに大勢が集  
和泉貴大(126回)、佐藤健介  
まることを期待したい。

## 青山ラグークラブ 夏のラグー祭開催

小林 正人(96回) 88卒



ております現役生とOBにより  
交流戦も、現役生が単独でチー  
ムを組めない事情もあり、合同  
チームで一緒に戦っております  
巻高校の現役生にご協力頂き、  
交流戦を開催することが出来ま  
した。

私が在校時に花園を目指した  
好敵手であり、しのぎを削った  
新潟工業高校、新潟商業高校、  
合同チームで当校と一緒に参戦  
した巻高校といった当時の花園  
常連組がベスト4に残らない、  
時代の流れとは言え寂しさを感じ  
ます。

昨年8月17日に、恒例の青山  
ラグー祭を開催いたしました。  
久しぶりの2年連続通常開催  
となり、幹事団としてもこれが  
日常の姿に戻りつつあることに  
安堵しております。

現役生は残念なことに部員数  
不足により、公式戦を単独校と  
して参加する事が出来ず、合同  
チームでの戦いが続いておりま  
す。ラグー祭当日も、恒例となっ

OBチームには、社会人チー  
ムでまだまだ現役バリバリで活  
躍している選手もあり、現役生  
には厳しい試合になりましたが、  
ところどころに将来を感じさせ  
るプレーも見え、今後の活躍に  
大いに期待できるものでした。

昨年のラグー祭は、いつもど  
おりの告知しかしていなかった  
のですが、例年を大幅に上回る  
OBの参加を頂き、ご参加頂い  
た皆様には感謝申し上げます。  
OBがたくさん集まる事で、今

後現役生への支援体制をどの様  
に行っていくのかといった話題  
も出て、幹事団としても有難い  
限りです。特に若手OBからも  
積極的な姿勢で協力を惜しまな  
いとの意見を頂き、今後の体制  
づくり大いに励みになりました。

まずは現役生の部員数増加  
まだ具体的にどの様な方策を取  
るべきか試行錯誤の状態ですが、  
かつての新潟高校栄光の時代が  
復活するべく、OB会としても  
活発な支援をしていきたいと存  
じます。数多くのOBの方の協  
力がが必要です、多くの知恵を結  
集する必要があります。ご意見  
を賜りたいので、数多くのOB  
の皆さんから新年会・ラグー祭  
へのご参加をお願い致します。

## フェンシング部OB会 インターハイ同行と今後

丹後 翔太(109回) 01卒

フェンシング部の外部コーチ  
をしております丹後です。私は  
高校入学後にフェンシングを始

め、インターハイと国体に出場。  
大学進学後も競技を続け、  
2009年の新潟国体出場を目  
指して帰郷し、同年の千葉県で  
行われた全日本選手権で現役を  
引退しました。

当部は、公立高校のマイナ  
な部活の為、専門の指導者はい  
ませんでしたが、私が高校1年  
の1998年からOBの方が指  
導に来てくださっていたので、  
現役引退後は、その恩返しとし  
て指導をしています。

昨年の8月には、外部監督と  
して、佐賀県で行われたイン  
ターハイに同行し、指導者とし  
て全国デビュー＆全国初勝利を  
収めることができました。

遠藤聡一さんが旅立  
ちました。  
私の中では小学校時  
の呼び名そういつちゃ  
んです。今もご近所、  
しばらく直接顔を合わ  
せてはいないものの、

## 遠藤聡一さん(87回)

### 追悼文

宮本 伸吾(87回)

79卒

進学校の為、環境や意識の面  
で厳しい部分はありますが、自  
分自身の課題と向き合い、克服  
し続けることは、部員達の今後  
の人生の大きな財産になる、と  
私は信じています。

帰郷後は母校後輩への指導者  
として、また県フェンシング協  
会の役員として競技の振興、と  
りわけジュニア育成からの2巡  
目新潟国体での県選手団の活躍

本校からは、2年生3人が出  
場し、そのうち2人が予選リ  
グを突破できたので、上々の出  
来かなと思います。  
ただ、現状ではこの結果に限  
界なので、今後はさらなる高み  
を目指し、お互いに妥協するこ  
となく、徹底的に精進します。

この夏も地元の祭りに例年通り  
寄付いただいたり、(お孫さん  
も何事もなかった様に参加)  
亡くなる1週間ほど前には私の  
SNSの与太話投稿に「いいね」  
が。奥様から連絡いただいたと  
きはまさしく絶句、本人の意志  
で闘病は伏せていたとのこと  
でした。

なお、昨年の10月に、前述の  
OBの一人で、私の師匠である  
遠藤聡一さん(87回卒)が、天  
国へと旅立たれました。

ここではそういつちゃんの  
新潟フェンシング界への貢献を皆  
様にお伝えしたいと思います。  
一緒にゼロからスタートした  
フェンシング部では、持ち前の  
持久力と俊敏性(私には彼を鬼  
ごっこで捕まえることが不可能  
でした)で頭角を現し3年時には  
インターハイで準優勝。さらに  
は富山先輩と共に大学進学後も  
競技を続ける道を開き、そこ  
で高校時代の忘れ物インカレ  
優勝。



56年、インカレ・エベ  
個人で遠藤選手が優勝

に尽力されました。その流れの中、そういったちゃんのスポーツに対する情熱はご息女のフェンシングインターハイ優勝、新体操のオリンピックへも受け継がれました。

そして記憶に新しいところで、パリオリンピック エベ団体古

保選手の銀メダル。そういったちゃん、深夜でしたが病床でこっそり中継を見て歓声を上げていたであろうと確信しています。

結びにA11eezそういったちゃんご冥福をお祈りいたします。

## 山岳部OB会

### 「令和6年度現役・OB交流会」

櫻澤 雅志 (86回) '78卒

去る10月26日の青山祭で現役とOBの交流会が開催されました。たまたま青山祭にいられていた20年卒(128回)の鈴木さんと今年卒業(132回)の谷澤さんにもご参加いただき、77年卒(85回)の奥村さんと87年卒(95回)でOB会副会長の上杉さんのOB5人と現役生11人、顧問の先生2人による、昨年より賑やかな交流会となりました。



交流会は現役・OBの自己紹介で始まりました。続いて今年の山行の報告があり、新歓(角田山)、春地区大会・県総体(五頭山)、北信越大会(巻機山)、夏合宿前(弥彦山)、夏合宿(苗場山)、3年生追出し(弥彦山)、秋地区大会(火打山)での現役部員の和気あいあいとした様子

が感じられました。現在の部員は3年生9人(男5女4)、2年生8人(男5女3)、1年生7人(男6女1)で、なかなかの盛況です。部員の3分の1が女性部員ということもあって、

私達の時代のがサツでむき苦しき霧閉気は微塵もありません。皆さん学年や性別によらず明るくにぎやかな雰囲気満ちていて、山行でも皆で山を楽しんでいる様子が伝わってきました。

五頭山で行われた県総体では、ペーパーテスト満点を目標として臨み、女子は最優秀校に輝き、福岡県の英彦山山系(英彦山・岳滅鬼山)で開催されたインターハイへの出場を果たしました。登山計画書の厚さとメイザックの大きさではNo.1と聞き、昔からの伝統かなと思いました。また、全国から集まった代表校と交流ができ、良い思い出になったようです。次は男女そろってのインターハイ出場を目指して頑張ってくださいと思います。

最後に、青山同窓会から頂く活動補助金の一部を活動支援金として現役へ贈呈しました。また、OB会への入会手続きをお願いし、集合写真を撮って交流会を終了しました。

来年も、青山祭で現役とOB・OGの交流会を開催する予定です。若いOB・OGを含め多数の方に参加して頂ければと思います。

## 青山バドミントンクラブ 今年度は61名！ 新潟高校バドミントン部現役生の様子について

小杉 信広 (92回) '84卒

青山バドミントンクラブは、新潟高校バドミントン部OB・OGを会員とし、新潟高校バドミントン部現役生への支援や、OB会行事を行っておりしました。新型コロナウイルス感染症拡大以降、行事は再開していませんが、現役生への支援(練習相手、シャトルの提供等)は継続して実施してきました。

OB会行事を再開していないことから、今回も新潟高校バドミントン部現役生の様子をお伝えします。

現在、新潟高校バドミントン部は平日放課後、休日に練習しています。平日はコート2面半しか使えず十分な練習ができないですが、休日は顧問の先生の御尽力により6面が確保され、十分な練習環境です。近年、青山バドミントンクラブ会員が顧問を勤めている他校との練習試合も行われています。

今年度は、3年生20人、2年生15人、1年生26人、計61(男子35、女子26)人で活動を行っています。3年生は昨年5月末の県総体で高校入学後2年間に培った力と全力でプレーする姿を後輩に見せて引退しました。その好影響で2年生はバドミントンに取り組む姿勢が積極的になり、平日の授業前や練習のない日にも顧問の先生に自主練習の許可を求める生徒も多いとのこと。1年生はバドミントン未経験の生徒も技術的な「コツ」を掴み始め、未熟な点は多々ありますが、各自レベルアップしていると感じています。

最近卒業後、進学先でバドミントン続ける生徒も多く見られるようになり、長期休暇や試合前には後輩の練習相手を務めてくれることもあります。今後もバドミントンのラリー同様、先輩後輩のつながりが続いてほしいと願っています。

青山バドミントンクラブ会員のみならずにおかれましては、ぜひ今後とも新潟高校バドミントン部現役生への御支援について御協力くださいますようお願いいたします。

## 青山剣友会 総会・懇親会開催報告

川本 良樹 (121回) '13卒

去る8月10日、亀田総合体育館武道場並びにホテルイタリア軒におきまして令和6年青山剣友会稽古会、総会・懇親会を開催いたしました。

稽古会には剣友会会員、並びに外部からの参加者を含め総勢11名の方にご参加いただきました。残念ながら生徒は参加できませんでしたが、熱気のもつた良い稽古を行うことが出来ました。

夜に開催した総会・懇親会には、総勢28名の方にご参加いた





できました。総会では令和5年度の会計について確認を行い、全会一致で承認をいただきました。その後懇親会の前に、今年亡くなられた会員の追悼を行いました。

ピアノストの方にもお越しいただき、ピアノの演奏を頂戴しながら、故人と所縁のあった会員から故人についてのいろいろな話をお聞きました。出席者全員で故人を偲ぶ、良い機会になったと感じております。その後の懇親会についても、大変盛り上がりがあった良い会でした。ご参加いただいた会員の方には心よりお礼申し上げます。

青山剣友会では月に一回学生と合同稽古を行い、学生に助力するとともに、会員同士の親睦を深めております。今後とも学生に支援を行いながら、様々な行事を通して新潟高校並びに青山剣友会を盛り上げてまいります。



## 青山サッカーOB会 猛暑の中でのOB戦

島津 直輝 (110回)

02卒

令和5年夏のコロナ禍明け4年ぶりの開催に引き続き、令和6年8月17日(土)にサッカー部OB戦を実施しました。お盆明けの時期ではありませんでしたが、例年以上の猛暑であり、またOBチームのベンチ入り人数に限りがあったことから、適度な休憩と給水を挟みつつ、現役部員の若さと体力に、OBチームは技術と経験で対抗しました。

結果はご想像にお任せしますが、およそ20名のOBが現役部員を相手に一歩も引くことなく必死にボールを追う様子は、年齢、世代に関わらず、まさに「サッカー小僧」というべき姿がありました。



試合終了後には、現役部員のキャプテンから今後の抱負をお話いただいたのち、参加者全員での集合写真撮影で締めくくりました。

事前の準備から対戦相手まで務めてくださった現役部員の皆さんや先生方には、OB会一同、改めて感謝申し上げますとともに、今後の活躍を祈念しております。

日ごろは訪れる機会の少ない

母校のグラウンドに年1回集い開催するこのOB戦は、とても貴重で有意義な時間を過ごすことができそうです。今回参加できなかった方や長い間参加していない方、また初めての方もぜひ次回はお気軽にお集りいただきたいと思います。

また、令和6年は、能登半島地震の影響で中止になりました

## 青山バスケットボールOB会 青山バスケットボールクラブは100周年を迎えます。

塚野 真也 (86回)

78卒

新潟高校は明治25年に開校した新潟県立新潟中学を前身としていますが、本校で初めてバスケットボールがおこなわれたのは大正12年(1923年)だったそうです。その後正式に籃球部が発足いたしました。当時はバスケット熱が学校全体で高かったようで、当時の校長先生は籃球を校技にするというほど熱意があったそうです。その後

スケートボールOB会が発足いたしました。長い歴史の中では英語指導教師の米国人宣教師から2年間指導を受けたことや、明治神宮大会に出場したこともあったようです。

100年前と言いますと、いわゆるスペイン風邪のパンデミックが起こっています。また関東大震災が大正12年(1923年)に起こりました。

現在は新型コロナウイルスのパンデミックが起こり、また各地の自然災害も多く、似たような状況のようにも思えます。当時の先輩方の状況はもちろんわかりませんが、それから100年間、各年代で先輩方や後輩た

が、毎年1月2日に、新春初蹴り(フットサル)を行っています。こちらもOB同士の親睦を深めるとともに、冬の運動不足解消にも絶好の機会ですので、奮ってご参加ください。

詳しくは、青山サッカーOB会ブログ <http://aoyamasoc.eobkai.blog.fc2.com/>。

ちがクラブをつないできたわけです。それぞれの年代でのドラマや感動があり、それらも語りつないでいかれることと思います。OB会のホームページも開設しましたので、今後は会員の情報交換の場などに活用していきたいと思っています。

この原稿を書いている時点ではまだ100周年記念パーティーの開催前ですので様子を伝えることはできませんが、当日の記念写真を添えました。

写真：青山バスケットボールクラブ100周年記念パーティー

2024年11月30日  
ホテル日航新潟



## 特別寄稿

長岡で暮らして  
—長岡花火に思う—

石田 幸雄 (80回) 72卒



私は新潟大学を卒業後、長岡市に本店を置く地方銀行に入行し爾来48年一応今も現役として銀行員生活を送っています。自宅は新潟市内にありますが、若い頃は家族帯同で、ここ20年ほどは単身赴任で長岡に居住しており、ほぼほぼ長岡人としての生活が続いています。

長岡と言えば、言わずと知れた8月2日・3日に行われる長岡まつりの大花火大会です。長岡花火はそのスケールの大きさは圧巻ですが、長岡空襲で亡くなられた方への慰霊と、平和への想いが込められており、また、2005年からは中越地震からの復興への祈りを込めて誕生した「復興祈願花火フェニックス」が打ち上げられています。(現在では東北大地震や日本各地の様々な災害からの復興、昨年であれば能登半島地震からの復興を祈願するものとなっています)

また、特筆すべきは観客の皆さんのマナーの良さです。私は毎年花火大会の翌朝、ボランティアとして花火会場である信濃川の土手の清掃活動に参加しています。ゴミらしきものはほとんど落ちていません。日本三大花火の一つと言われますが、これも加味すればまさに日本一の花火大会と言えるかと思えます。

規模や美しさだけではなく様々な想いが込められている長岡花火、感動間違いなしです。

で、一度もご覧になっていない方はもちろん、過去にご覧になったことがある方も年々バージョンアップされていますので、是非ご覧頂ければと思います。(但し、2022年より観覧席は全席有料席となり、チケットの入手は抽選となっています)

こうした長岡花火ですが、いつもうらやましく思うとともに感心するのが、長岡高校の卒業生で還暦を迎える同期生が「長岡高校還暦記念花火」を代々欠かさず上げているということです。還暦に因んであげる花火であることから原則尺玉60発(年毎に更に趣向を加える)を打ち上げますので数百万円はかかるはずです。これを同期生で負担しあつて打ち上げる訳ですが、資金集めに苦労したという話はあまり聞きません。長岡高校卒業生は強い絆で結ばれているのか、或いは長岡花火の魅力・魔力によるものなのか、恐らくは両方かと思いますが、何れにしてもこの還暦花火打ち上げを契機に同窓生としての絆が更に深まったという声を耳にします。

我々青山同窓生が心を一つにできるこのようなイベント・セレモニーをどなたか発案してみませんか。

またまたフェンシング  
パリオリンピックに寄せて

阿部 和弥 (83回) 75卒

夏休み真っ只中の8月7日、埼玉から剣を一本「たがいて」母校体育館でのフェンシング部の練習に参加してきました。(前回は3月末)

この度はパリオリンピックのフェンシング競技に男子エペ団体で出場した新潟市出身の古保聖選手(新潟第一高出)が見事に銀メダルを獲得。彼も高校生の時にはここで練習していた事を後輩部員にも伝え、共に喜びを分かち合いました。高体連フェンシング専門部はもちろん、長年にわたる新潟県フェンシング協会の皆様方の地道な活動が



ベースにあつてのこの快挙です。顧問の阿部見和子先生によりまずとフェンシング部の本年度登録部員は38名と全国的にみても大所帯ですが、この日の練習には研修他の関係で1、2年生合わせて10名が参加。限られた時間の中で基本的なフットワークと剣の操作程度の練習くらいしかできませんでしたが、後輩部員には「勝つことより部の存続だ、それが伝統だ」と50年後にこの中の1人でも私のようにOBとして後輩の若き青山剣児の前に姿を表わしてくれることを願って風のように

## 若手同窓会「青々会」の活動報告

中村 峻 (111回) 03卒

あけましておめでとうございます。この度、若手同窓会の「青々会(あおおおかい)」の活動を紹介させていただきます。青々会は若手の同窓生による集まりで、まだ社会人として青年の時期を送る私たちが、代を超えて交流することを目的としています。年に3回、飲み会の

場を設け、毎回賑やかな宴会となります。10名ほどの幹事があり、会を企画し、初参加の方や久しぶりの方も輪に入れるように気を配っています。

新型コロナウイルス感染症が流行してからは休会としていましたが、一昨年の5月にコロナが5類感染症となったのを節目に、会の

去つてきました。50年前、私は彼らと同じ高校生だったわけ。ちなみにそのまた50年前には関東大震災があつたという。帰りに校地そばの念仏寺に眠る恩師、上杉雅之先生(60回)の墓参りも。翌日から夏季学校閉庁日という事で、たった半日限りの母校訪問ではありましたが、ホールには青陵祭の写真展示もあり、逆に50年前の若き日にワープした気分になったことを付け加えておきます。

追伸

本校のみならず、新潟県フェンシングの強化、発展に長年寄与されてきました遠藤聡一さん(87回)が昨年10月にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



再開を検討しました。そして 8 月 9 日に 4 年ぶりとなる青々会を中央区万代のイタリア料理店「lanfang」にて開催しました。30 名以上が参加し、懐かしい顔ぶれや、初参加の方も含め大いに交流することができました。写真はその時の様子です。また 11 月 15 日にも「安兵衛古町店」にて忘年会を開催しました。みなさん忙しいため、忘年会は早めに設定しています。これも長年続けてきたことによる配慮です。

新潟高校を卒業して県外に出た方は、Uターンで新潟に戻ってきたても社会人同士のつながりに乏しいことが多いと思います。が、この会で同窓の輪を広げ、新潟での仕事や暮らしにプラスになるような出会いがあればと思います。

青々会「ふらつといつでも参加できる集まり」を目指しており、会の案内などの連絡も全て LINE グループで行っています。40 歳以下の方で興味ある方は、中村までメールをいただければご案内いたします。(snunakamura.h@gmail.com) 気軽に参加できて、出会いは一生涯モノ。これからも末永く会が続くように、幹事の一人として活動を行ってまいります。



## 坂口安吾生誕 120 周年特別企画「風に吹かれて」

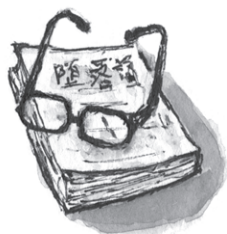
### 第 1 回 混迷の時代に甦る安吾

齋藤 正行 (76 回) 68 卒

前年の新潟地震で被災した私は、やや臍曲がりになりかけて、翌年、新潟高校に野球のユニホームと道具を持って入学式に向かいました。新人生から生意気で、直ぐレギュラーになりましたが、怪我と不調和で退部しました。校風の良さの一つ、先生の無関心のお陰で、一日中図書館に居る事が許されました。そこで初めて、坂口安吾の作品に出会いました。「風博士」と「吹雪物語」の二作品。全く違和感だけ。理解できない文章で

した。それが、悔しくて、坂口安吾の略歴を調べると、旧制中学校に在籍した人だと知りました。他の作品を読み始める、都合の良い事に、落第はするわ。放校になるわ。早速、彼を模倣して、浜で寝込んで授業はサボる。挙句の果てに、渡辺秀英(团长)先生に、朱点とつたから落第サセロと談じ込んだり。もちろん落第(ゲンコツで)させてもらえず。卒業して、東京に行けば、七〇年安保の風吹きまくり、時代に沿えない私は、一人

引き込もりになって、坂口安吾の作品を書き写して過ごしました。その後、新潟に戻り、「安吾を「やりたい」と言っても理解してもらえず、丁度、「ライフ」の閉館を機に「シネ・ウインド」を立ち上げ。その拠点を事務局に「安吾の会」を始めました。A (アング) プロジェクト。その間に、三千代夫人の諒解を得て、昭和六十二年十月二十日(誕生日に明治三十九年)戦後生まれ初の芥川賞作家中上健司が来て呉れて現在まで活動が続けて居ます。安吾のお陰で、色々な方が新潟を訪れて呉れています。筒井康隆、柄谷行人、出口裕弘、佐々木中、松本健一、加藤典洋、藤沢周、森達也、阿部龍太郎



等々の各氏。又、外国からの安吾研究者も。昨年は浪曲師の玉川奈々福さんの「桜の森の満開の下」を口演してもらい、大喝采でした。課題は、安吾記念館「風の館」の閉館の事。安吾賞の終了等。時代が混迷すれば、する程、安吾は蘇ります。それを生かすのは、新潟の私達、後輩の役目だと思っています。皆さん、是非ご協力を!!

## 母 校 は 今 <令和 6 年度新潟高等学校部活動大会等結果報告>

### 陸上競技

#### 【北信越総体】

男子：400M 1 位 圓山 倫生 ※全国総体出場

女子：棒高跳 8 位 長谷川 碧

#### 【新潟県陸上競技選手権大会】

女子：4×400MR 5 位 山木 莉羅・間 歩実・長谷川 湊・渡邊 真成

※北陸選手権大会出場

100mYH 4 位 小林 莉緒

#### 【全国総体】

男子：400M 圓山 倫生 予選 8 位

#### 【北陸陸上競技選手権大会】

女子：4×400MR 6 位 間 歩実・長谷川 湊・山木 莉羅・渡邊 真成

#### 【新潟県高等学校選抜陸上競技大会】

男子：棒高跳 2 位 増子 岳暁 ※北信越新人大会出場

#### 【北信越高等学校新人陸上競技大会】

男子：棒高跳 9 位 増子 岳暁

#### 【県総合体育大会 (駅伝競走)】

男子：11 位 番場 玲太・古田島 輝・齋藤 優仁・吉川 晃太・手島 悠心・市橋 悠佑・田中 宏明

女子：8 位 長谷川 湊・酒井 七菜・浅井 菜那・山木 莉羅・田中 心菜

### 水泳

#### 【北信越総体】

男子：50M 自由形 2 位 堀内 光 ※全国総体出場

3 位 田邇 悠人 ※全国総体出場

100M 自由形 5 位 堀内 光 ※全国総体出場

100M 背泳ぎ 1 位 須田 大晴 ※全国総体出場

200M 背泳ぎ 1 位 須田 大晴 ※全国総体出場

100M 平泳ぎ 7 位 田邇 悠人

4×100M フリーリレー 2 位 堀内 光・田邇 悠人・坂木 莊介・須田 大晴

※全国総体出場

4×100M メドレーリレー 5 位 須田 大晴・田邇 悠人・坂木 莊介・堀内 光

※全国総体出場

100M バタフライ 坂木 莊介 決勝 10 位

200M バタフライ 坂木 莊介 予選 13 位

#### 学校対抗 競泳男子総合第 2 位

女子：400M 自由形 2 位 富樫 美咲 ※全国総体出場

800M 自由形 2 位 富樫 美咲 ※全国総体出場

200M 自由形 9 位 佐藤 琴光

200M 自由形 河原 陽菜 予選 13 位

200M 背泳ぎ 12 位 佐藤 琴光

100M バタフライ 7 位 門間 悠月

200M個人メドレー	10位	河原 陽菜
400M個人メドレー	10位	門間 悠月
4×100Mフリーリレー	6位	佐藤 琴光・河原 陽菜・ 富樫 美咲・門間 悠月
4×100Mメドレーリレー	6位	佐藤 琴光・河原 陽菜・ 門間 悠月・富樫 美咲

学校対抗 競泳女子総合第7位

【全国総体】

男子：50M自由形	堀内 光	予選35位
50M自由形	田邇 悠人	予選28位
100M自由形	堀内 光	予選50位
100M背泳ぎ	須田 大晴	予選39位
200M背泳ぎ	須田 大晴	予選57位
4×100Mフリーリレー	堀内 光・田邇 悠人・ 坂本 莊介・須田 大晴	予選31位
4×100Mメドレーリレー	須田 大晴・田邇 悠人・ 坂本 莊介・堀内 光	予選33位
女子：400M自由形	富樫 美咲	予選36位
800M自由形	富樫 美咲	予選41位

バレーボール 【全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会】

男子：1次予選	1回戦	新潟2－0新津工業
	2回戦	新潟0－2巻
女子：1次予選	1回戦	新潟0－2新潟西

バスケットボール 【全国バスケットボール選手権大会1次予選】

男子：1次予選	1回戦	新潟55－57三条
女子：1次予選	1回戦	新潟86－39高田・高田北城
2次予選	2回戦	新潟66－64新潟商業
3回戦		新潟52－70日本文理

卓球 【北信越総体】

女子：シングルス	1回戦	富樫 世愛	出場
----------	-----	-------	----

バドミントン 【県1・2年生大会】

男子：ダブルス	磯野 太一・田中 志郎	2回戦進出
	司山 瑛太・渡邊 蒼	2回戦進出
シングルス	磯野 太一 山岸 賢世	2回戦進出
女子：ダブルス	山内 俐乃・小河原理奈	出場
シングルス	山内 俐乃	出場
	小河原理奈	2回戦進出

ラグビー 【全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県予選】

1回戦	新潟・巻7－53新発田南
	【NHK杯新潟県高等学校ラグビー大会】
1回戦	新潟55－5新潟商業
2回戦	新潟24－26万代・敬和・巻

柔道 【北信越総体】

女子：個人戦	70kg級	萱森さくら	出場
【BSN高等学校柔道体重別選手権大会】			
女子：団体戦	3位	1回戦	新潟0－3上越
敗者復活	1回戦	新潟3－0日本文理	
3位決定戦		新潟2－1豊栄	
個人戦	70kg級	3位	萱森さくら

山岳 【北信越総体】

男子：団体	近藤 利樹・山口 渉・小島 康生・ 鈴木 博斗	出場
【全国総体】		
女子：団体	古川 賀恵・高山 七海・外立 真奈・ 丸山 琴理	出場

テニス 【全国選抜高校テニス大会】

男子：団体 ベスト8

1回戦 新潟5－0新井

準々決勝 新潟0－3東京学館新潟

女子：団体 3位

1回戦 新潟3－2長岡

2回戦 新潟3－0長岡向陵

準決勝 新潟1－3長岡大手

3位決定戦 新潟3－2新発田

【県高等学校テニス選手権大会】

男子：ダブルス 佐藤 航瑛・熊木 陵真 ベスト8

シングルス 佐藤 航瑛 2回戦進出

フェンシング 【北信越総体】

女子：個人サーブル	4位	小海 紗里		
【全国総体】				
男子：個人エペ	井上 侑	予選トーナメント進出		
個人サーブル	小杉耕太郎	予選プール出場		
個人フルーレ	小杉耕太郎	予選プール出場		
女子：個人サーブル	小海 紗里			
		予選トーナメント進出	2回戦進出	
個人フルーレ	小海 紗里	予選プール	出場	
【新潟県高等学校秋季体育大会フェンシング競技大会】				
男子：個人フルーレ	1位	小杉耕太郎	2位	片山 利音
	3位	井上 侑	6位	山田 真平
個人エペ	1位	高野 温也	6位	井上 侑
個人サーブル	2位	小杉耕太郎	3位	坂井 汰樹
	4位	片山 利音		
女子：個人フルーレ	1位	小海 紗里	5位	佐藤 可奈
個人エペ	2位	柳 咲希	3位	鈴木 楓菜
個人サーブル	1位	小海 紗里	4位	伊佐早沙都
	5位	刀根 美月	6位	佐藤 可奈

ボート 【北信越総体】

男子：舵手付きクォドルブル	仲山 陽太・田村 豊・ 田中 丞士・富岡 晃生・ 八木 天翔	決勝C進出
ダブルスカル	佐久間結太・初山 世多	決勝C進出
シングルスカル	丸山 凜空	準決勝進出
	本間 太陽	決勝D進出
女子：舵手付きクォドルブル	和田明香里・菊地 遥・渡部 真由・ 中枝 寛香・福岡 里奈	決勝B進出
ダブルスカル	4位 増子 歩美・丸山 恵	
	山田 凜・渡邊 花蓮	決勝B進出
シングルスカル	馬場 麻佳	決勝C進出
【全国総体】		
男子：舵手付きクォドルブル	仲山 陽太・田村 豊・田中 丞士・ 富岡 晃生・八木 天翔	準々決勝進出
シングルスカル	丸山 凜空	準々決勝進出
女子：舵手付きクォドルブル	和田明香里・和田 純佳・渡部 真由・ 菊地 遥・中枝 寛香	準々決勝進出
ダブルスカル	増子 歩美・丸山 恵	準々決勝進出

空手道 【全国高等学校空手道選抜大会新潟県予選会】

女子：団体形	1位	
団体組手（5人制）	2位	
個人形	1位	高橋くらら
個人組手	－48kg 3位	高橋くらら
	－53kg 3位	富樫 遥
	－66kg 1位	李 知政

野球 【全国高等学校野球選手権記念新潟大会】

1回戦	新潟12－0五泉
2回戦	新潟0－2開志学園
	【北信越地区高等学校野球大会新潟県大会】
1回戦	新潟8－1新津
2回戦	新潟5－3新潟商
3回戦	新潟4－2柏崎工
準々決勝	新潟0－5中越
	【第97回選抜高等学校野球大会21世紀杯】
	第97回選抜高等学校野球大会21世紀杯新潟県推薦校

弓道 【北信越大会】

女子：個人の部	5位	細山 凜乃	
	並松 春音	ベスト8	
【全国総体】			
女子：団体の部	並松 春音、田村		
	中島 采芭、小林 優		
	庄司小柚実	出場	

放送 【NHK杯全国高校放送コンテスト】

アナウンス部門	斎藤 真緒・掛川 ゆう	出場
朗読部門	早川 千鶴・小林栞珠紀	出場
ラジオドキュメント部門		
	作品名：その声は目の代わり	優良賞（5位相当）
テレビドキュメント部門		
	作品名：今日も「きまま」に	出場
創作ラジオドラマ部門		
	作品名：りんご ゴリラ ラッパ 情熱 優勝	（文部科学大臣賞）



## 創作テレビドラマ部門

作品名：私の色は 出場

## 【全国総文祭】

アナウンス部門 斎藤 真緒 出場

朗読部門 昆 千遥 出場

## オーディオメッセージ部門

作品名：未来への種 出場

## ビデオメッセージ部門

作品名：「学ぶ」ということ 出場

## 【新潟県高等学校放送コンクール】

アナウンス部門 奨励賞 本間 真央・花澤 優衣  
(北信越大会出場)

朗読部門 1位 早川 千鶴

3位 掛川 ゆう (全国大会・北信越大会出場)

ラジオ番組部門 2位

作品名：新潟ってどこの地域!? (北信越大会出場)

テレビ番組部門 2位

作品名：白山市場でたくさんの「」を  
(全国大会・北信越大会出場)

## 写真

## 【新潟県総文祭】

学校賞2位

共同制作部門 優秀賞 若林 怜奈・上田 夏花・

内山 直洋・佐藤嘉雅理

奨励賞 笠原 琉愛・筒井 結香・

米山明日花・金子 拓人

入選 中川 萌花・橋本 茉莉・

北原 優・渡辺 柊帆

榊原 蒼生・掛川 ゆう・

笹 哩梨子

個人部門 優秀賞 川口みちる (全国展推薦)・

橋本 茉莉 (全国展推薦)

優秀賞 若林 怜奈・筒井 結香・

柳沼 里紗・掛川 ゆう・

米山明日花

奨励賞 伊藤 里紗・酒井 彩圭・

掛川 ゆう・内山 直洋・

渡辺 若葉・渡辺 柊帆

入選 笠原 琉愛・榊原 蒼生・

上田 夏花・池田 美南・

北原 優・笹 哩梨子

佐藤嘉雅理・荒海 菜月・

猪又 咲希

## 【第56回新潟県写真サロン 自由作 高校生以下の部】

金賞・新潟県教育委員会教育長賞 川口みちる

銅賞 酒井 彩圭

入選 猪又 咲希・渡辺 柊帆・米山明日香・掛川 ゆう・

柳沼 里紗・若林 怜奈

内山 直洋・笠原 琉愛・金子 拓人・池田 美南

## 合唱

【NHK全国音楽コンクール新潟大会】 銀賞

【全日本合唱コンクール新潟県大会】 金賞

## 吹奏楽

【新潟県吹奏楽コンクール】 金賞 (代表選考会進出)

【新潟県アンサンブルコンテスト】

金賞 サクソフォーン3重奏

金賞 打楽器5重奏 (代表選考会進出)

## 囲碁

## 【全国総文祭】

都道府県別対抗団体戦 41位 望月 新太・前山 果凛

男子：個人戦 24位 佐藤 祐真

女子：個人戦 16位 土屋 楓

## 【文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会】

男子：団体戦 松本 煌生・望月 新太・

佐藤 祐真・目黒 結人 出場

個人戦 望月 新太 佐藤 祐真 出場

女子：団体戦 権 退琴・前山 果凛・

土屋 楓 出場

個人戦 前山 果凛 土屋 楓 出場

## 【県高等学校秋季囲碁段位認定大会】

1位 佐藤 祐真 2位 前山 果凛 3位 菅原 健一

## 【新潟県高等学校総合文化祭囲碁部門】

男子：1位 佐藤 祐真 2位 望月 新太

3位 菅原 健一 5位 目黒 結人

※北信越大会出場

団体戦 1位 ※北信越大会出場

女子：1位 土屋 楓 2位 前山 果凛

4位 鎌田茉莉衣 ※北信越大会出場

団体戦 1位 ※北信越大会出場

## 美術

## 【新潟県総文祭 美術・工芸・書道展】

「朱夏」 若月咲智子 ※令和7年度香川総文祭推薦出展

## 書道

## 【高校生国際美術展 書道部門】

奨励賞 長濱 瑠依

佳作 本間沙也花・植木 陽菜・荒海 菜月・

伊藤まひろ・加村まゆは・斎藤今日子・

清水 凛・津田花菜乃・渡邊理紗子

## 【新潟県総文祭 美術・工芸・書道展】

新潟県高等学校文化連盟賞

礎 碧珠 ※令和7年度香川総文祭推薦出展

## 【新潟県競書大会】

特選 長濱 瑠衣・川村 心子・吉川 晃太

準特選 志村 彩夏・澤口 晴・荒海 菜月・

王 海翼・礎 碧珠・須田 愛子

## 【国際高校生選抜書展】

優秀賞 礎 碧珠

秀作賞 荒海 菜月

入選 菅原 椎愛・若月咲智子・佐藤 璃歩・

根本 夏美・本間沙也花・吉田 莉央・

植木 陽菜・長濱 瑠衣

## 将棋

## 【全国総文祭】

女子：団体戦 根塚 明莉・早川 千鶴・和田ひかり 出場

## 【新潟県高等学校文化連盟将棋新人大会】

女子：個人戦 優勝 根塚明莉 準優勝 渡邊 花映  
※全国大会出場

3位 和田ひかり

男子：個人戦 岩本 裕太 ベスト8

## 個人

## 【全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会】

男子：個人戦 松永 洸希 決勝171位

## 【全国総文祭 小倉百人一首かるた部門】

小林 夏葵 出場



「青山同窓会報」ホームページにも掲載しています。バックナンバーとして今後も掲載していきます。

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力ください。開催の期日を早めにご連絡いただければ、事務局で「青山同窓会報」・会費納入のお願い・会費振込用紙・A4サイズが入る封筒(同窓会名入り)を人数分ご用意します。詳細は事務局までお問い合わせください。よろしく願いいたします。

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

原稿の字数は本文8000字程度で書いてください。9000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合があります。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。詳細は事務局までお問い合わせください。締切の目安  
総会号 (7月発行)  
当年5月10日頃  
新年号 (1月発行)  
前年11月10日頃

「青山同窓会報」への寄稿をお待ちしております

表紙題字：小川 和恵 (101回)  
イラスト：池主 憲夫 (68回)

97回H1年 阿部圭子 栗崎博幸 今井啓一 遠藤一美 桑藤信義 斎川裕章 白川定貴 清野貴司 関博司 祖父江展 高橋勲 瀧澤明基 田中基 名塚武史 堀越康裕 本間政徳 矢部正浩 渡部公正 渡辺信幸	上村頭也 佐藤美雪 品田泰子 鈴木由貴 津嶋知美 西脇友哉 根本妙隆 長谷川大介 谷部隆二 増井敦史 圓山口久美 山口美子 和賀論	小林由幸 後藤秀男 関前明子 堂前圭太郎 平野絵美 廣瀬雄一 真柄洋平 真柄啓史 茂岡崇治 渡木誉志	116回H20年 浅川千恵 荒川大生 佐藤憲明 古川隼人 若林拓哉 117回H21年 今成悠理子 荻根沢真帆 澁木克也 立石優希 畑有紀 畑山雅俊 118回H22年 会田俊貴 千代透力 宮腰力 119回H23年 木村亮太 島垣朔歩 関谷祐香 田巻秀樹 田村知樹 端孝哉 松木大地 渡邊緑	岩瀬夏海 木村晶彦 木村竜晟 杉谷航平 竹石寛空 船木美子 渡邊眞子 128回R2年 伊藤早希 古泉壯太郎 佐藤創 真貝香久 須栗久善 高橋優心 敦井晴香 諸我菜摘 129回R3年 久代実采 黒坂丈郎 佐藤祐次郎 芝明将 村上善将 130回R4年 飯瀨靖一郎 岩瀬裕紀 小熊雄大 小倉茉莉 菅野暖大 小林晃大 小林良大 坂井瑞季 高橋文也 根津恵莉 長谷川暖子 平山理音 細野耕平 吉田健人 131回R5年 青木咲瑛 伊藤考生 伊藤詩織 牛木亜美 金谷りさ 桐生愛子 久代実季 佐藤明香理 杉谷岬遥 塚田遥乃 長谷川彩乃 馬場花恋 福島日向子 細島弘熙 真柄尊 村松美直 矢澤美海 矢澤美空 山崎茜 132回R6年 石井一宙 今村葵生 大澤誠 岡郁瑠 風間桃子 岸高嶺 桑原乙葉 小池倫太郎 小林未澪	笹川蒼天 佐瀬貴拓 佐藤那也 佐藤凛太 三宮綾太 芝高橋周 高立川諒 槻木太一 土田煌生 津中端莉々子 夏野慶遠 根津友莉 濱田実宏 福島榮眞 星野天音 本國陽子 三國万結 宮路菜和 村松晃輔 山田泰一 吉田夏希 渡辺あかり 渡邊舞子 通信制 4回S37年 大谷孝二 近藤一弥 5回S38年 喜多輝美 6回S39年 高橋富榮 本保銀一 山川春雄 養田太郎 7回S40年 片原裕子 8回S41年 金田静江 田邊泰 間島キソ子 松縄清 9回S42年 橘栄子 角田清宣 10回S43年 吉樂政子 斎藤レイ 佐藤イチ子 山田一夫 11回S44年 小林幸子 牧野榮策 山田隆久 12回S45年 阿部勇太郎 小林京子 坂爪義興 田辺辰次 田村幸栄 平澤信子	吉野久美子 13回S46年 中山雅之 八木清宣 吉沢利子 14回S47年 川上長市 佐藤芳子 伝川末吉 宮澤洋子 15回S48年 川上ヨイ子 小松朝子 16回S49年 梅田和恵 小黒恒雄 田巻勇作 横山まゆみ 18回S51年 阿部公平 加藤晴喜 渋谷治紀 立川佐智子 矢部恵三子 19回S52年 内山美佐子 勝島テル子 中林巴子 20回S53年 天尾正子 小島英二 嶋田博 21回S54年 石田菊江 小池トミ子 清野義昭 星野幸平 22回S55年 佐々木浩之 佐藤マツイ 種村昭久 種村恵美子 外山トミエ 永田梅子 松原俊昭 丸山秋一 宮島敬史 23回S56年 飯浜良子 五十嵐タツミ 太田光雄 角田恒男 和田道子 24回S57年 室橋丈司 25回S58年 吉田蓉子 26回S59年 近藤英子 神保孝吉 南雲トミイ 水戸慶一 山川信明 山田春代 27回S60年 阿部幸一 安倍武勇 石川孝子	岡田忠雄 永野正人 29回S62年 廣川チイ 陽田ナツ子 三浦美恵子 30回S63年 荒木眞壽美 伊藤ミヨイ 野崎俊夫 31回H1年 金子よう 菊地正明 関テル子 宮崎圭央 32回H2年 神田光子 武正志 山賀利夫 33回H3年 駒沢聡 丸田賢一 渡辺作司 渡辺むつ子 34回H4年 今井純子 35回H5年 小林直樹 福田知恵子 36回H6年 椎谷郁子 37回H7年 遠藤輝久 神林早苗 笹川薫 38回H8年 成田二郎 古瀬勝人 39回H9年 安藤智恵 小林弘 吉野一男 40回H10年 曾我昭仁 永原正朋 星恒市 42回H12年 石田美砂子 永田裕子 星野レン子 44回H14年 近雄介 45回H15年 大杉貴美枝 46回H16年 大崎シズ 小柳トミエ 永井守 中村優美 47回H17年 小森雅且 不明 オオノヒロシ サトウトモヒロ
---	---	---	--	--	---	--	--



渡 辺 正 昭 84回S51年 青山 由樹子 浅野 美久也 阿部 俊幸次 荒木 泰雅士 飯塚 英一肇 五十嵐 里栄子 石川 紹晴 石塚 康良 伊藤 良孝 今井 孝和 今崎 彦満 岩崎 郷志津 遠藤 津江子 大賀 綾雅 賀賀 卷栄 黒山 宏二 勝藤 幸和 加藤 正史 金蔵 勝 神蔵 みどり 久須美 宏 小出 公男 小林 浩子 小林 人子 小林 二子 小松 敬志 近藤 志之 近藤 朋玲 郷藤 子泉 斎藤 一雅 斎藤 昌裕 坂井 有和 坂井 健伸 清水 伸之 白井 俊介 白倉 達郎 鈴木 昌裕 関橋 有子 高山 健一 田崎 伸之 浪花 子介 西野 一郎 野口 郁夫 野野 紹英 星野 慎子 星野 哉信 堀本 薫仁 本浦 清也 本浦 尚夫 三浦 比呂 三浦 義弘 宮崎 元彦	行 田 充 芳 川 敦 85回S52年 浅田 浩義 畔上 桂子 阿部 尚美 荒井 裕子 安沢 弥男 飯沼 泰智 石田 富美 磯西 徹美 伊藤 景明 今井 豊重 岩崎 龍一 大沼 文男 岡本 春裕 奥村 貴基 加野 敬志 河川 治政 栗林 直忠 桑原 敦志 小林 彰義 小林 喜代司 小林 孝平 小藤 敦子 近坂 井泰 佐藤 隆司 佐藤 直道 佐藤 やい 清野 牧裕 園田 泰久 高須 洋宏 高野 靖志 高玉 克己 筒井 敦子 戸枝 秋夫 登米 地令 富山 泰男 長野 曜一 成庭 芳衛 庭谷 亮樹 花角 石世 藤見 和宏 逸川 晃二 細本 裕明 本水 政一 森吉 圭昌 若林 昌毅 阿部 淳一	阿 保 聖 子 五十嵐 正 子 五十嵐 敏 朗 伊賀 昌 夫 池田 武 文 石塚 山 暁 板井 梯 二 伊藤 健 一 稲田 秀 一 右近 祥治 大塚 寛 司 岡田 敏 哉 長田 早 苗 河合 慎次郎 河村 聡 昭 栗山 正 明 小斎 妙 子 斎藤 健 朗 佐藤 昌 典 洪木 義 春 関谷 信 一郎 高野 薫 子 高野 聡 子 高橋 みどり 竹田 良 彰 田辺 慶 直 玉木 俊 広 坪野 篤 夫 当时 英 代 中川 治 夫 長野 伸 之 花澤 一 子 林口 敬 和 広間 祐 幸 本前 晃 男 増田 浩 浩 丸山 立 裕 水野 重 三 森屋 義 博 山下 敏 永 山科 ほとり 山田 規 夫 山本 泰 明 米山 文 子 若林 昭 夫 渡辺 英 美 渡辺 彩 子 渡辺 智 次 渡部 智 明	87回S54年 青 柳 正 俊 石 沢 昌 子 石 藤 千 恵 伊 藤 聡 猛 伊 今 量 一 今 西 純 一 遠 藤 博 聡 大 川 克 利 岡 本 敬 之 荻 莊 誠 彦 奥 村 克 洋 押 山 益 義 加 藤 武 治 加 藤 真 理 栗 原 一 浩 栗 柴 孝 子 駒 村 美 佐 斎 藤 光 雄 坂 井 健 二 佐 藤 展 之 清水 忠 明 須 田 剛 花 関 秀 明 Saltzgeber 純 子 高 橋 直 樹 田 口 操 新 田 崎 典 英 戸 谷 英 樹 土器 巨 彦 長 場 秀 茂 西山 均 淳 服部 浩 志 林 佳 弘 藤 木 達 介 本 多 剛 德 本 間 俊 輔 本 松 正 人 南 田 佳 吾 宮 岸 伸 毅 山 口 浩 吉 山 崎 治 之 横 野 滋 浩 吉 田 雅 政 渡 辺 茂 隆 天 野 千 秋 五十嵐 亀 美 華 池 田 全 之 石 原 基 規	伊 積 孝 今 井 信 一郎 上 野 恒 夫 太 田 玉 紀 大 橋 恵 裕 長 田 宏 明 小 原 正 生 菊 地 伸 一郎 君 村 裕 毅 木 間 博 子 草 池 真 理 小 竹 久 哉 小 林 洋 子 小 林 知 見 小 山 佳 行 後 藤 貴 一 齋 藤 弘 美 櫻 井 弘 美 指 中 明 子 佐 藤 雅 治 澤 登 井 栄 白 井 恵 美 相 馬 早 奈 高 橋 聡 貴 高 田 中 環 谷 内 村 章 種 池 主 雅 玉 常 木 郁 寺 田 弘 慈 遠 山 康 雄 戸 松 司 弘 長 谷 川 健 弘 藤 田 施 明 古 澤 名 由 星 本 間 茂 本 間 則 尚 結 城 岡 潤 吉 月 正 規 若 渡 邊 治 夫 渡 邊 恵 美 相 場 晴 典 飯 田 英 節 飯 田 健 孝 池 栗 藤 一 伊 井 尚 子 今 岩 遠 岡 神 林 正 浩 倉 田 啓 輔 倉 裕 一	佐々木 裕 道 佐 野 哲 郎 笹 恭 治 白 勢 男 高 橋 紀 久 瀧 川 雅 彦 田 村 雅 美 継 原 真 与 内 藤 留 美 中 山 望 子 濁 川 博 宏 灰 野 正 一 長谷川 浩 美 ハドリ 昭 子 古 山 利 樹 星 井 睦 夫 前 川 上 志 山 口 浩 成 山 田 敏 昭 吉 坂 直 彦 脇 渡 辺 豊 90回S57年 相 羽 朋 紀 雨 夜 喜 美 五百川 鉄 夫 石 見 谷 淳 岩 藤 公 則 加 神 儀 政 神 斎 斎 俊 斎 藤 道 弘 斎 藤 結 花 坂 井 田 武 塩 根 根 弘 白 根 敏 一 関 曾 山 博 曾 高 野 文 竹 内 比 呂 田 邊 郡 亨 中 土 屋 俊 坪 富 山 栄 富 中 村 久 中 桝 伸 一 塙 口 正 史 樋 本 川 信 前 宮 尾 昭 靖 宮 北 貴 和 宮 村 上 子 村 森 中 浩 森 横 井 義 横 渡 辺 修	渡 辺 栄 91回S58年 姉崎 淳 阿 崎 見和子 荒 若 信 子 淡 路 明 子 五百川 裕 彦 五十嵐 恒 貴 石 山 史 子 市 田 周 健 市 川 千 春 今 井 伸 二 上 野 聖 子 内 海 信 宏 大 小 真 利 小 野 和 人 風 間 まゆみ 梶 慎 一郎 小 藤 裕 之 後 藤 寛 志 佐 藤 美 恵 佐 藤 弥 生 寺 崎 芳 典 成 海 信 之 野 沢 雅 行 張 替 涼 子 藤 本 間 伸 人 本 間 正 隆 三 浦 敦 務 横 堀 真 弓 若 渡 部 直 樹 渡 部 美 紀 92回S59年 上 杉 恒 彦 上 野 洋 子 江 成 修 亨 遠 保 順 子 大 野 朋 子 岡 島 あゆみ 小 野 井 利 郎 金 井 康 志 河 池 芳 彰 菊 北 村 信 木 杉 玲 路 小 林 善 龍 小 見 藤 善 龍 近 坂 井 木 正 洪 清 善 彦 白 野 美 保 瀧 澤 尚 以 田 下 祐 子 中 島 貴 智 中 野 美 智子	長 場 泰 畑 野 晋 一 本 多 間 雅 之 本 前 田 光 俊 丸 山 まさみ 肇 皆 沢 洋 涉 93回S60年 阿 部 和 滋 五十嵐 形 友 英 行 石 山 玲 子 伊 内 坪 琢 子 金 子 真 奈 美 工 藤 哲 洋 佐々木 敦 子 佐 藤 賢 一 本 藤 昌 子 柴 田 水 裕 清 田 卷 帝 橋 詰 政 之 森 下 哲 朗 94回S61年 阿 部 素 子 今 井 勝 成 大 谷 倫 子 加 島 麻 利 櫻 井 孝 幸 佐 藤 健 一 本 貝 邦 剛 細 渡 佐 浩 渡 邊 康 明 95回S62年 浅 岡 俊 宏 荒 澤 拓 郎 有 田 里 実 池 田 知 之 古 泉 明 男 小 嶋 健 児 佐 野 卓 郎 関 川 茂 樹 高 橋 園 美 武 村 直 介 町 田 一 越 山 中 祐 子 96回S63年 石 賀 洋 介 江 部 則 行 大 島 壮 太郎 加 藤 井 奈 津 坂 白 石 俊 輔 鈴 木 周 好 中 島 本 恒 浜 田 純 子 保 坂 岸 義 晃
---	--	---	--	---	--	--	--

E-mail    niigata\_aoyama@yahoo.co.jp



E-mail niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

## 令和6年度前期 青山同窓会会費納入者

令和6年4月より9月末まで納入いただいた方を掲載しております。10月以降に納入された方は次号に掲載いたします。  
会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非3月までにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

令和7年度会費納入のお願いと振込用紙は、令和7年度総会のご案内と一緒にご郵送いたします。

年会費 1口 1,000円。できるだけ2口以上でお願いいたします。手数料はご負担をお願いします。  
振込先 【郵便振替口座】 00650 - 7 - 4455 青山同窓会  
【第四北越銀行】 白山支店 普通口座 5008609 青山同窓会年会費

全日制	60回S27年	石川 紀一郎	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰
50回S18年	石川 黒忠	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
橋本 達也	石川 豊	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
51回S19年	市川 村	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
今泉 笑顔	市川 村	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
北村 茂	市川 村	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
52回S20年	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
阿部 秋由	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
岡崎 昭兒	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
齋藤 泰五郎	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
佐藤 秀夫	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
山崎 利兵衛	小川 秋実	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
53回S20年	高城 英	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
田崎 国夫	高城 英	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
55回S22年	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
新井 勝龍	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
今湊 良敬	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
片岡 啓一郎	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
金子 隆弘	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
鈴木 俊雄	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
鈴木 剛	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
富所 壽剛	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
前田 利雄	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
山田 甚平	中村 信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
56回S23年	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
赤坂 長弥	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
井上 菊雄	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
江口 直禎	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
加藤 勝則	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
小島 直孝	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
斎藤 恒孝	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
田中 孝馨	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
若槻 馨	安宅 久憲	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
58回S25年	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
赤安 倍	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
近高 寅彦	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
高田 龍彦	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
早川 哲夫	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
本間 庄二	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
本間 島速	赤塚 行司	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
59回S26年	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
青木 久馬	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
飯村 康一	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
梅沢 貞雄	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
小柳 佳一郎	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
栗林 重彦	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
茂泉 喜一	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
鈴木 誠一	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
西脇 諭久	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
堀滋 久	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰
吉川 篤	相川 義信	内山 隆之	相馬 研三	五十嵐 隆	徹史 元	小林 裕	正啓 裕	俊志 子	高橋 正	仁明 収	関高 滝	口見 澤	徹辰 雄	雄澤 辰	雄澤 辰